

「Voicy News Brief」&「EEvideo」

英語チャンネルでスキルアップ目指そう

リスニング・スピーキングで「音声知覚」を手に入れる

ボイシーコンテンツディレクター 山本あづささん

大学受験はもちろ
ん、留学や社会人としても
最重要スキルとされるのが英
語。昔も今も多くの学習方法や教材
があるが、シンプルで有効な「英語
の学び方」とはどういったものだろ
うか。音声メディア「Voicy（ボ
イシー）」で英語チャンネルを運用
するコンテンツディレクターの
山本あづささんに学びのコ
ツを聞いた。



「音」が英語習得のカギ

山本さんは現在、ボイシーのコンテンツディレクターとして多くの音声チャンネルの運用に携わっている。自らもフリーナレーターとして活躍する声のプロフェッショナルだ。そのような仕事での経験も踏まえて、英語を深く理解して使いこなすにはリスニング・スピーキングがカギを握るといふ。「もちろん、教科書やテキストで文法や単語を暗記するのも重要です。だけど英語も含めて外国語を習得するには、「音」の要素は絶対に外せません」。

「音」を理解するというのはどういうことか。たとえば第二言語を習得するとき、リスニングの研究では①音声知覚②意味理解——という2つの段階があることが分かっている。音声知覚とは「聞こえていた音声を、自分でもことばとして操作可能な形式にする」こと。そこからさらに進んで、脳内の母国語の辞書から「あのことば」に対応することばを結びつけるのが意味理解になる。

音声で一石三鳥の学習法

山本さんがおススメする学習方法の一つが、単語帳をCDなど付属の音声データとセットで聞いて、例文ごと暗記していくというもの。単語の暗記とセットで、リスニング力を鍛えることができる。さらに例文ごと覚えることで、文法の自然習得も図るといふ一石三鳥の学習法だ。

山本さんは大学3年のとき、米国に留学した。留学のための能力検定ではTOEFLが課せられたが、自身も通学の電車で単語帳を開きながらCDを聞きこむなどして、3カ月の集中勉強で必要なスコアに達したという。「単語帳にある類

義語や反意語も一緒に覚えると、語彙力もぐんとアップします。工夫もしながら、自分にぴったりの学び方を見つけてください」。

失敗は恐れなくていい

山本さんは大学卒業後、外資系の広告代理店に勤務して世界大手の日用品メーカーをクライアントで担当した。今はボイシーで語学力を生かして、ニューヨーク・タイムズと提携した英語チャンネル「Voicy News Brief」の企画・運用にまい進している。「外国語を話せるようになると、文化やバックボーンの異なる人たちと本当の意味で仲間になれると思います。言葉なんだから、少くも文法やアクセントが間違えていても大丈夫です。コミュニケーションしたいという情熱があれば相手もきっとそれを受け止めてくれます。失敗を恐れずに英語をどんどん聞いて、話してい

笑顔でインタビューに応じる山本あづささんとボイシー画面

ましよう！」英語は世界中に可能性を広げるパスポート。教室での授業や進学のための勉強をきっかけにして、積極的にスキルを伸ばしていこう。



山本 あづさ 静岡県出身。18年にボイシーに入社し、コンテンツディレクターを務める。テレビ番組やネット媒体などでもフリーナレーターとしても活動中。英検1級。趣味は登山。

メモ Voicy 15年に創業した音声メディアプラットフォーム。スマホで収録できて、個人が簡単にラジオ番組のようなコンテンツをインターネットで配信できる。現在、お笑い芸人の西野亮廣さんら多様なパーソナリティーが200以上のチャンネルを展開中。

ニューヨーク・タイムズ 米国で発刊される日刊新聞。ニューヨーク州に本社があり、確かな報道と取材力に裏打ちされた政治・経済・社会の記事は、世界中で引用されている。

TOEFL 国際基準の英語能力測定試験。英語圏への留学を希望するとき、受け入れ元となる多くの大学や教育機関が必要なスコアを提示する。読む・聞く・書く・話すの4技能で120点満点。

ニューヨークタイムズの記事を毎日ピックアップ

英語の学習にはテキスト、音声教材、英会話レッスンなど多くのものがある。インターネットでは無料で良質のコンテンツもあるので、授業や参考書などと並行



し上手に活用していこう。山本さんが手がけているのが「Voicy News Brief」。米国大手の日刊紙であるニューヨーク・タイムズの記事を毎日ピックアップして、無料で放送している。口替わりで英語記事を読むのは現役の英語講師や帰国子女のパーソナリティーたちなので、ネイティブの発音で時事の話題を吸収できる。記事内の単語解説も充実しているので、リスニングのフォローアップにも応用の利く内容となっている。

「動画と字幕で楽しく学べる」と注目を集めているのが「EEvideo」だ。インターネット上にあるユーチューブの

英語による動画を集めて、英語の字幕に日本語の対訳を振っている。文節の区切りを表示しているのが大きな長所で、動画を視聴しながら文法構造を確認できるようになっている。動画は「映画」「政治」「社会」「アニメ」などジャンルごとに分類されているので、興味を持ってそうなものから始められる。無料公開している動画も多数あるので、ユーチューブで生の英語に触れるには絶好のチャンスだ。



ボイシー



EEvideo